

研究結果

当研究を行うのに、原始資料の発掘が一番大事なことである。だから、2008年日本へ行って、『同文書院紀要』『国語文化講座—国語進出篇』などいろいろな史料が見つかり、そして『中国人の日本語学習史』などの著作も数冊手にした。中国で、東北三省で、一ヶ月ぐらい短期滞在し、史料の収集も年寄りへのインタビューもでき、北京や上海などの地方の図書館で珍しく保存された清末、民国の日本語教科書も見られるようになった。これらはみな論文を書くための土台になった。

以上の資料を通して、マクロとミクロ的歴史視点によって、日本教育史に関する論文を3本発表してきた。「1896-1945：中国大陸日語教育概観」では、中国大陸における日本語教育の創始、発展、盛行と終結の各段階の実績を考査した。「同文書院之日語教育」では、南京同文書院、上海東亜同文書院などの五つの同文書院における日本語教育を考査し、それぞれの特徴また書院の発展における日本語教育の役割を探求した。「清末至民国時期的日語教科書述論」では、教科書の変遷を究明し、各時期の教科書の特徴、長短所を比較した。また、代表的な教材を例として、教科書の内容、編纂方法、主導思想などを研究した。

以上の論文を書いていた間、この分野の研究はもっと細かくしたほうがいとだんだんわかってきた。たとえば、始めの教育機構である京師同文館の日本語教育において、まだ不明なところが多い。これからはこういう個所の研究を続けてやっていきたい。今度貴財団から貴重な援助をいただき、今後日本語教育史の研究を進めるようにがんばろうと考え、同時に貴財団にありがたく感謝する次第である。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

予定：清末における日本語教育の濫觴及び背景 寶碩華 日本語教育学世界大会 (台湾)
2010年8月

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

清末至民国時期的日語教科書述論 寶碩華 中国教育研究与創新 2009年5月
1896-1945：中国大陸日語教育概観 寶碩華 吉林大学社会科学学報 2009年6月
同文書院之日語教育 寶碩華 世紀外語教学与研究 2009年6月

予定：清末日語教育概述 寶碩華 北九州工業高等専科学院学報 2010年5月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)